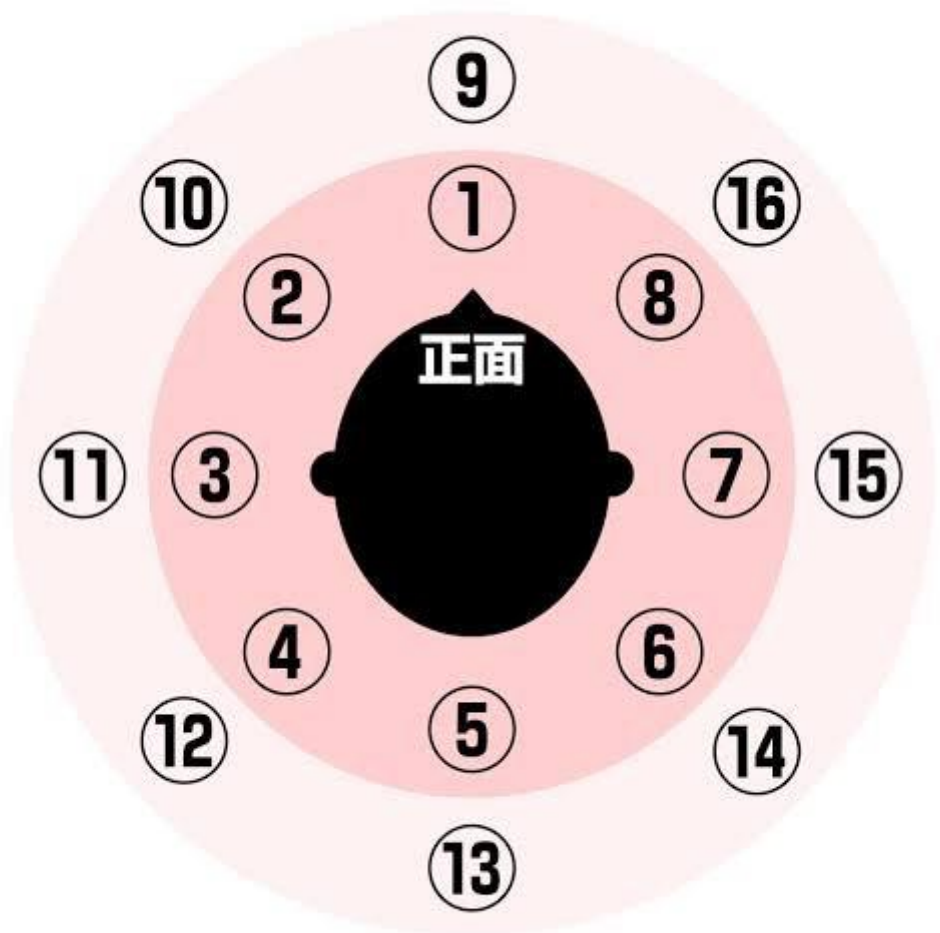


【全編オホ声】 低音ドスケベ母娘サキュバスによる監禁強制孕ませ性交【≪低音】

※セリフ名前の上にある数字が場所指定になります。場所指定は画像参考です。



● 1章 目が覚めたら監禁されていた、目の前には二人のサキュバスが

○サキュバス母娘のアジト

1. (気を失っているあなた。遠い意識の中で、二人の女性の声が聞こえてくる)
2. ルイズ 右後ろ「……こら、待ちなさいアリス。焦っちゃだめよ？ 寝ているうちに襲うなんて、お下品なことをしてはいけません」
3. アリス14「えへ、もう我慢できないよママ……だってこの人……こんなすごい精気……♡ あたし、すっごいドキドキするの……♡」
4. (ルイズ、目覚めるあなたに気が付いて、)
5. ルイズ 右後ろ「あら……お目覚めかしら？」
6. アリス14「あっ♡ やつと起きたねっ。おはよ〜♡ 気分はどう？ よく眠れた？♡」
7. (あなたに歩み寄るルイズとアリス)
8. ルイズ 正面 近い「……ふふ、ここはどこかって？ そうねえ、あなたの住んでいる場所からずーっと遠く……誰にも見つからない場所、とだけ言っておきましようか」
9. アリス9「なに暴れてんのー？ ん、なあに？ 手錠をはずせて？ ふふっ、またまたあ♡ 外すわけじゃないじゃん♡」
10. アリス1「……だって……今から私たち、あんたのことたっぷり搾精するんだからさ♡」
11. アリス9「……搾精って知らない？ さ・く・せ・い♡ あんたの精気を、最後の一滴まで絞り取ってあげるって♡」
12. ルイズ「ふふ……落ち着いてくださいな。何も取って食おうなんて思っていないです。突然連れてきてしまっただけなんじゃないね。町で私たちのおうちにお連れする男性を探していたら……あなたの精気が誰よりも強くて、つい……♡」
13. アリス9「そうそう♡ もう、プンプン香ってたんだよ。近くにいただけで興奮してきちゃうくらい……♡」
14. ルイズ「あら、ごめんなさい。紹介が遅くなっちゃったわね。私の名前はルイズ。こちらは私の娘よ」
15. アリス9「アリスだよ！ よろしく♡」
16. ルイズ「私たち……サキュバスの親子なの♡」
17. ルイズ「……ふふ、ご理解いただけたようね♡ そう、サキュバスにとって男性の精気は必要不可欠……生きていくために絶対に欠かせないもの……」
18. アリス9「私たち、ここ数日なんも食べてなくてさあ……お腹、ぺこぺこなんだよね♡ あなたのことが、今すぐにでも食べちゃいたいぐらい……♡」
19. (あなたに迫るルイズとアリス)
20. ルイズ「どうかしら？ 私たちのためにその体を任せてくだらない？……あなたにとってもそんなに悪いことじゃないと思うの♡ だって私たち、あなたのこといっぱい気持ちよくしてあげられるんですから……♡」
21. アリス1「そうだよ♡ 人間では体験できないような、サキュバスでしか体験できない

ような……すごい気持ちいいこと、いっぱいしてあげるよ？♡」

22. ルイズ「……それでも嫌？ 家に帰してくれて……？ あら、そう……残念だわ……ふふ、じゃあ無理矢理に襲うしかないわね。最初からあなたに選択肢なんかないんですよ。ただの人間ごときがサキュバスから逃れようだなんて……馬鹿なことを考えないでちょうだい♡」

23. アリス1「そうだよ、あきらめなよ♡ ほら……あたしのおっぱい、ふわふわでおっきいでしょ？♡」

24. アリス1「えへへ、女の子にこうやって襲われるの、初めて？ こんな赤くなっちゃってさあ……かわいい♡ そこらへんの人間のメスよりいい体してるっしょ？♡ ほら……あたしの目、見て？ サキュバスの魔力で、君のこと虜にしてあげる……」

25. ルイズ右斜め前 近い「はあ……♡すごい精気……♡ 娘に欲情してるのね……さっきよりもいやらしい精気があふれ出てるわ……はあ……♡」

26. ルイズ「ねえ、私のことも見て？ ほら……アリスの胸よりも、私のほうがおっきいでしょ？♡ ふふっ♡ そんなにじつと見ちゃって……♡ ほうら、このお胸であなたのこといっぱい気持ちよくしてあげるわ……♡ はあっ……♡ もっと近くで見せて……」

27. ルイズ「おおっ……♡すごい精気……♡ こんないやらしい精気……はあ……♡ どんどんあふれ出てきてる……♡ 素晴らしいわ……♡」

28. アリス1「んっ……♡ ほお・♡ ただ隣にいただけで……こんなに……♡ んっ……♡ はあ……♡ はあ……♡」

29. ルイズ「あなたの首筋……ほら、こっち向いて……はあ……♡ とってもいやらしい精気……触れてるだけで感じちゃう……♡ あっ……♡ んっ……♡ はあ♡ あっ♡ おっ♡ おほっ♡ おおお♡」

30. アリス1「おっ♡ んっ♡ おおっ♡ はあ♡ はあ……♡ ママ、早くこの人の精気食べちゃおうよ……♡ あたし、もう我慢できない……♡」

31. ルイズ「ふう……♡ そうね、そうしましょう……」

32. ルイズ「ふふっ、私たちの目に狂いはなかったようね♡ あなた、本当に人間のオスとは思えないほどの精気の量……♡」

33. アリス1「ほんと、こんなすごいご馳走はじめて……♡」

34. ルイズ「逃げられないのは分かったでしょう？ さ、もうあきらめて体を委ねなさい♡」

35. ルイズ「うふふっ……あなたの精子がからっぽになるまで、私たちの子宮で搾り取ってあげる……♡」

36. アリス3「いっっぱいザーメンびゅーびゅーさせたげる……♡」

37. ルイズ右近い「私たちが妊娠しても関係ないわ……♡」

38. ルイズ7・アリス3「最後の一滴まで、あなたの精を絞り取ってあげるからあ……♡」

● 2 章 ≪ 低音囁き&耳なめ 乳首責め手コキ

○ サキュバス母娘のアジト

40. ルイズ正面「ふふっ……♡ さっそく精気をいただこうかしら♡」
41. ルイズ「……そうよ、まずはゆっくり焦らしてあげるわ♡」
42. アリス10「いっぱい焦らしてあげたほうが、質のいい精気を摂取することができるんだよ……♡ それに、あふれてくる精気もたっぷり味わえるしね♡」
43. ルイズ「ほうら、服をぬがせてあげる……♡ 腕をあげて？」
44. ルイズ正面近い「……そう、いい子いい子♡ あら？ ふふっ♡ 乳首がもう勃起してる……♡ さっきは逃げたがってたくせに、体は正直ね……♡ こんなにコリコリにたたせちゃって……♡」
45. アリス11「じゃあ私はこっち……♡」
46. アリス3「おちんちん、可愛がってあげる……♡」
47. アリス3「すごい……触っただけで分かるよ♡ すっごいガチガチになってる……♡ ほら……直接触ってあげるからね……」
48. アリス3「はぁ……♡ すごい立派なおちんちん……♡」
49. ルイズ右 近い「早く触ってほしいでしょう？ ねぇ……♡」
50. ルイズ「……あら？ あなた、お耳も弱いみたいねえ♡ ふふっ、じゃあ一緒に責めてあげましょうね♡ たっぷり精気をあふれださせてちょうだいね……♡」
51. アリス3「お耳弱いんだぁ……♡ いっぱあい舐めてトロトロにしてあげるからねえ……♡」
52. ルイズ「はぁ……♡ 可愛いお耳……♡ ちゅ♡ ちゅ……♡ ふふっ♡ くすぐったいかしら？ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ……♡」
53. アリス3「はぁっ……♡ こっちは私が気持ちよくしたげる……♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡」
54. ルイズ「ちゅ……じゅるる……♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぁっ……♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるる♡ じゅるる♡ はぁっ♡」
55. アリス3「（ルイズと同時に）じゅるる♡ じゅるる♡ ちゅ……じゅるる……♡ はぁっ……♡ じゅるる♡ はぁっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるる♡ ちゅ♡ じゅるる♡ ちゅ♡ じゅるる♡ はぁっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるる♡ ちゅ♡ じゅるる♡ ちゅ♡ じゅるる♡ はぁっ……♡ じゅるる♡ じゅるる♡」
56. ルイズ「ほうら、お耳と一緒に……コリコリの乳首も一緒に気持ちよくなりましょうね……♡ 指先でカリカリはじいてあげる……♡ かり♡ かり♡ かり♡ ふふっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるるる♡ じゅ♡ じゅ♡ んっ♡ はぁっ……♡ じゅるるる♡ じゅるるる♡」
57. アリス3「ママの乳首責め、すっごいでしょ……♡ うふふ、分かるよ♡ だっておちんちん、すごいもん♡ どんどん我慢汁あふれてきてる……♡ こっちも、お耳と

おっ♡ おほっ♡ じゃ……じゃじゃじゃ♡ じゃじゃ♡ じゃ♡ ふっ♡ うっ♡
おっ♡ おほっ♡ おっ♡ すっごっ……♡ おっ♡ おおっ♡ おっ♡ じゃ
る♡ おっ♡ おっ♡ はー♡ はー♡ おっ♡ おほっ♡ じゃる♡
じゃ……♡」

65. ルイズ「(アリスと同時に)おっ♡ おおっ♡ おっ♡ じゃる♡ おっ♡ お
おっ♡ はー♡ はー♡ じゃじゃじゃ♡ じゃ♡ ふっ♡ うっ♡ おおっ♡
おほっ♡ おっ♡ すっごっ……♡ おっ♡ おほっ♡ おっ♡ おおっ♡ んっ♡
じゃる♡ じゃる♡ んおっ♡ おっ♡ おほっ♡ じゃ……じゃじゃじゃ♡ お
っ♡ おおっ♡ おっ♡ じゃる♡ おっ♡ おほおっ♡」

66. ルイズ「はー♡ はー♡ すごい精気……♡ 乳首、いっぱい感じてるのね
……♡」

67. アリス3「君のおちんちん、もう我慢汁でぐちゃぐちゃになってる……♡ ヌルヌルで
気持ちいいでしょ……♡」

68. ルイズ「おっ♡ おほおっ♡ はー♡ はー♡ この精気の量……あなた、イ
キそうなのね……♡ いいわよ、イカせてあげる……♡ アリス、いっぱいしごいてあ
げなさい♡」

69. アリス3「はー♡ はー♡ はいっ……♡ ね、もっと気持ちよくなって……♡
あたしたちに精気いっぱいちょうだい……♡」

70. ルイズ「ちゅ♡ ちゅ♡ じゃる♡ じゃる♡ んっ♡ おっ♡ おおっ♡
すっごっ……♡ おっ♡ おおっ♡ じゃる♡ じゃ♡ おっ♡ じゃじゃじゃ♡
じゃじゃ♡ はあ♡ じゃじゃ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゃる♡ じゃる♡
んっ♡ おっ♡ じゃじゃ♡ じゃじゃ♡ おっ♡ おおっ♡ んほおっ♡
おっ♡ はー♡ はー♡ りっむ……♡ もっ……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡
♡ じゃ♡ じゃる♡ んほっ♡ おっ♡ じゃ♡ じゃじゃ♡ じゃじゃ♡
はあ♡」

71. アリス3「(ルイズと同時に)ちゅ♡ ちゅ♡ じゃる♡ じゃる♡ んっ♡
おっ♡ じゃじゃ♡ じゃじゃ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ じゃる♡ じゃる♡
んっ♡ おっ♡ おっ♡ じゃ♡ じゃじゃ♡ じゃじゃ♡ はあ♡ おおっ♡
♡ おっ♡ おおっ♡ んほおっ♡ おっ♡ はー♡ はー♡ すっご
……♡ やほっ……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ くるっ……♡ おっ♡ おおっ♡
♡ じゃる♡ じゃ♡ おっ♡ じゃじゃ♡ じゃじゃ♡ はあ♡ じゃ
じゃ♡ じゃ♡ じゃる♡ んほっ♡ おおっ♡」

72. ルイズ「ほらっ♡ っっびびびーびびーしなっ♡ びびーびびー♡ びびーび
びー♡」

73. アリス3「おほっ♡ おおっ♡ びびー♡ びびー♡ ほらほら♡ 最後まで出し切
っっ……♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ はー♡ はー♡ びびー♡ び
び

ー♡」

74. ルイズ「……はーっ♡ はーっ♡ いい子ねえ♡ こんなにたっぷりびゅーびゅーして♡ こんなに立派な人間のオスを捕まえることができて、本当に幸せだわ……♡」

75. アリス3「いっぱい溜まってたんだね……♡ どちらの濃厚なザーメン……♡ はあっ♡ すっぴい……こんなに出したのにまだたっぷり精気感じるもん……♡」

76. ルイズ「ふふっ♡ まだまだこんなもんじゃ私たちは満足しないわ……いいえ、全然足りない……♡ もっとちょうだいね？♡」

78. ●3章 パイズリフェラ アナルなめ すけべ椅子

○サキュバス母娘のアジト

79. ルイズ正面「ふふ♡ もうこんなに気持ちよくなっちゃって、すっかり逃げる気もなくなってしまったんじゃない？♡ 手錠も取ってあげましょうね」
80. アリス10「あーあー、見てよママ。この顔……もっと欲しいって顔してる♡」
81. アリス10「……ん？ 違うって？ ふふっ、そんな強がらないでいいよ♡ 君が欲しがらなくても、たっぷり気持ちよくしてあげるからね♡」
82. ルイズ正面「そうねえ……もっと気持ちよくなるために……体、綺麗に洗ってあげましょう♡ さあ、こちらへ来なさい」
83. (立ち上がるルイズとアリス)

○風呂場(?)

84. (ガチャ、と入って来るあなたたち)
85. ルイズ「ふふ……広くて綺麗な風呂場でしょう？ 一緒に体の洗いっこしてあげるわ♡」
86. アリス12「ね、こっち来て？」
87. アリス11「ほらこの椅子……えっと、人間はなんて呼んでるんだっけ？」
88. アリス11「……ああ、スケベ椅子ね♡ お尻のところが空いていてエッチをするための椅子・ふふ、はい♡ ここ、座って？ アリスたちが洗ってあげるよ♡」
89. ルイズ「ふふ♡ 恥ずかしがってるのね♡ この椅子なら……オチンボも、アナルも洗いやすいでしょう？♡」
90. アリス11「シャワーしてあげるね……」
91. (サアア……と、シャワーの音)
92. アリス11「……どう？ 熱くない？ ふふっ……♡ うん……もう少しね……これから何されるか考えてるの？ おちんちん、おっきくなってきた……♡」
93. (キュ、とシャワーを止める)
94. アリス11「……はい♡ ママ、洗ってあげよ♡」
95. ルイズ「あわあわにしてあげるわね……？♡」
96. ルイズ後ろ「ほら……背中から……♡」
97. ルイズ後ろ近い「肩……肩甲骨を通して……すーって……♡ ぞくぞくしてるの？♡ ふふっ♡ 脇を通して……乳首……♡ あらあ、ずっと勃起しっぱなしじゃないの♡ コリコリの乳首……しっかり洗ってあげないとね♡ 指先で、しっかりと……こりこり♡ こりこり♡ こりこり♡ ふふっ……♡」
98. アリス9「おちんちんも洗ってあげるよ……ほらあ、ちゃんと足開いてさ♡ ぐしぐし♡ ぐしぐし♡ ぐしぐし♡」

99. アリス9「玉の裏もちゃん洗ったげるからね♡ ごしごし♡ ごしごし♡ ごしごし♡……なんか一緒にお風呂入っていると、人間の男と女みたいにさ、一緒に暮らしてるみたい……♡ ふふふっ……♡ ね？ そう思わない……♡ ふふっ……♡」

100. ルイーズ「じゃあ私は……うしろ、洗ってあげるわ♡ そうよ、アナル……ふふっ、こ
こも精気がたっぷりあふれ出る場所なのよ……♡ いっぱい可愛がってあげるからね♡」

101. ルイーズ「……ほら、この椅子なら洗いやすいでしょ？ ふふっ……あらあ、可愛いアナル♡ あとでトロトロにしてあげるからね♡」

102. アリス9「はーい、準備おっけーだよ♡ 流してあげる♡」

103. (サアア……と、シャワーの音)

104. アリス9「ふふっ♡ 今のおちんちん勃っちゃったね？♡」

105. (キュ、とシャワーを止める)

106. アリス9「……はい、できたよー♡」

107. ルイーズ「あらあら……アナルがひくひくしてるわ？ はあっ……♡ じゅる……私のお口でいっぱい可愛がってあげる……♡」

108. ルイーズ後ろ「はあっ……♡ すっごい精気……♡ おっ……♡ おおっ♡ ふふっ♡ 舌でとろとろにしてあげるわ……♡」

109. ルイーズ「えあーん♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ ふふっ♡ えあーん♡ じゅるる♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅるる♡ んっ……♡ おっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ ふっ♡ んっ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ……」

110. アリス9「あたしはおちんちん気持ちよくしてあげるよ♡ さっきは手でしごいてあげたからなあ……お口で……あっ、そうだ……」

111. アリス9「君、さっきからずっとアリスのおっぱい見てるよねえ？ おっきいおっぱい、好きなんだあ？ ふふっ♡ おっぱいで、おちんちんしごいてあげよっか？♡」

112. アリス9「ほらっ……おっぱいで、君のおちんちんぎゅって挟んで……おっ♡ んっ……精気、すっごい……♡ もっとちょうだい♡ ほらっ♡ おっぱいで、しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡」

113. アリス9「……おっ♡ おおっ♡ すごい……♡ おちんちん、ガチガチになってる……♡ んっ♡ おおっ♡ はーっ♡ はーっ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ ねえ？ 気持ちいい？ アリスのふわふわのおっぱい、気持ちいいでしょう？♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ 人間のおっぱいでは味わえない……気持ちいいの……いっぱいあげるからっ♡ んっ……おっ♡ おおっ♡ おっほ♡ はーっ♡ はーっ♡」

114. ルイーズ「アナルもどんどんほぐれてきたわよ……♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ んっ♡ おっ……♡ おおっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ おっ♡ おおっ♡ はーっ♡ じゅるる♡ じゅるる♡ んおっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ はーっ♡ はー

っ♡ 舐めるたびに感じちゃう……♡ えあーん♡ じゅるる♡ じゅるる♡ んお
おっ♡ おっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡ おっほ♡ おおっ♡ じゅ♡ おっ
♡ じゅるる……」

115.アリス9「すごいね……ママにお尻の穴舐めてもらって、おちんちんは私のおっぱいで
シコシコしてもらってんだ♡ 人間の女の子じゃこんなに気持ちよくしてくれない
よ？♡ ほらほらぁ♡ もっといっぱいしごいたげるから……♡ 君の感じてる顔、
いっぱい見せて……？♡」

116.アリス9「……ばふばふ♡ ばふばふ♡ ばふばふ♡ はーっ♡ はーっ♡ 精気が
あふれてくる……しこしこ♡ しこしこ♡ おっ……♡ おっ♡ おっ♡ はー
……♡ もう我慢できない……♡ おっぱいでしこりながら、フェラもしてあげる
……♡ 私のパイズリフェラ気持ち良すぎておちんちん溶けちゃうかもね♡ いただき
ますっ……♡」

117.アリス9「あーん……はむっ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅぼっ♡ じゅぶ♡
んぶっ♡ じゅるるじゅぼ♡ じゅぶ♡ んぶっ♡ ぐぼっじゅぶじゅぶ♡ んっ♡
おっ♡ んぐっ♡ じゅるる♡ んっ♡ じゅぶぶ♡ んぐぼっ♡ じゅぼじゅぼ♡
んっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅぼっ♡ じゅぶ♡ んっ♡ ンおっ♡ おごっ♡ お
っ♡ おおっ♡ おっほ♡ ぐるじゅぼ♡ んぐっ♡ じゅぶぶ♡ おっ♡ おっ♡
じゅるる♡ んっ♡ じゅぶぶ♡ んぐぼっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅるる♡ ぶはっ♡
はーっ♡ はーっ♡ 君のおちんちん、おいしいっ♡ もっとちょーだい……♡」

118.ルイズ「あなたのアナルっ♡ すごい精気……♡ おほっ♡ おっ♡ おおっ♡
んっ……♡ えあーん♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅぼ♡ おご
っ♡ じゅるる♡ はあっ♡ おっ♡ おおっ♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅるる♡
おっ♡ おっ♡ おおっ♡ じゅ♡ んっ♡ おほおおっ♡ はーっ♡ はーっ♡
ねえ？ サキユバスの唾液には人間の体を敏感にさせる成分が入っているのよ……ふ
ふっ、そう、唾液が媚薬になるの……♡ あなたのアナルもどんどん気持ちよくなって
きたんじゃない？♡ ふふっ……♡ えあーん♡ じゅ♡ じゅるる♡ んっ♡ じ
ゅぶぶ♡ おっ♡ おほっ♡ じゅ♡ じゅぼ♡ じゅ……♡」

119.アリス9「ふーっ♡ ふーっ♡ おちんちんも、どんどん気持ちよくなるでしょー♡
おっぱいでぬるぬるになって……♡ あたしの唾液でいっぱい感じてよね♡ あーん
……んっ♡ じゅるる♡ はあっ♡ あむっ♡ んぐっじゅるる……じゅぐぼっ♡
おっ♡ じゅ♡ んぐっ♡ じゅぼじゅぐぼ♡ じゅるる♡ んっ♡ じゅぶぶ♡ ん
ぐぼっ♡ じゅぼじゅぼ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅぼっ♡ ふふっ……ねっ
♡ いっぱい気持ちよくしてあげるからね……♡ じゅぼっ♡ じゅぶ♡ んぶっ♡
じゅるるじゅぼ♡ じゅぶ♡ んぶっ♡ ぐぼっじゅぶじゅぶ♡」

120.ルイズ「おほっ♡ おっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅるるる♡ はあっ
♡ あなたももう我慢できないんじゃないかしら……？♡ はあっ♡ 私も……もう

……♡ おっ♡ んっ……じゅ♡ じゅるる♡ えあーん♡ じゅ♡ じゅるるる♡
じゅぽぽじゅ♡ んっ♡ おっ♡ おおっ♡ はあっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡
♡ じゅるるる♡ じゅぷぷっ……じゅ♡ はあっ♡ アリスっ……もう私、だめっ
……♡ おっ♡ おっほ……おおっ♡」

121.アリス9「ママ……♡ すごい顔♡ 君の精気にあてられておかしくなっちゃったみたい……♡」

122.ルイズ13「おっほ♡ おおっ♡ おまんこ、びしょびしょになってるのおっ♡ おっ♡ はあっ♡ ねえ♡ ベッドに行きましょう……♡ 早くあなたの立派なおちんぽ、私のオマンコにちょうだいっ……♡ おっ♡ おおっ♡ んっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ アナルだけじゃ、もう満足できないっ……♡ おっ♡ おおっ……♡ はーっ♡ はーっ……♡」

● 4 章 我慢できずに母サキュバスが生ハメ、娘は主人公の手でオナニー

○アジト・寝室

124. (ガチャリ、とドアが開く。あなたを連れて入って来るルイズとアリス)
125. ルイズ正面「こっちよ……ふふっ、ほら、大きなベッド。ここなら二人でも、三人でも思いつきり性行為ができるわよ♡ ここでいっぱいエッチしようねえ……♡」
126. アリス10「ふふっ、ママがこうなったらもう止まらないよ？ 最後の一滴まで精を絞り取られちゃうんだから……覚悟してなね♡」
127. ルイズ「さあ、横になって……」
128. (ドサツ……と、あなたを押し倒すルイズ)
129. ルイズ右斜め前「押し倒されて、興奮してるのねえ♡ さっきよりも精気を強く感じるわ……♡ はあっ♡ はあっ……♡ ぞくぞくする？ ふふっ♡ オチンポもっと焦らしてあげましょう……♡ アリス、一緒にお耳いただきましょうか♡」
130. アリス11「はあ♡」
131. アリス3「……君のお耳、いっぱいじゅぶじゅぶしたげるね……♡」
132. ルイズ右近い「えあーん♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ふふっ♡ じゅる……♡ じゅる♡ じゅ♡ じゅ♡ はあっ♡ じゅるる……♡じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅるる……♡はあっ♡ お耳、気持ちいい？♡ ふふっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ はむっ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅるる♡ はあっ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅる♡ じゅるる……♡じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ はあっ♡」
133. アリス3「(ルイズと同時に)はあっ……♡ ふふっ♡ えあーん♡ はむっ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅっ♡ じゅるる♡ すごい♡ おちんちんさっきよりもおっきくなってる……♡ えあーん♡ じゅるる♡ じゅ♡ んっ♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ふふっ♡ じゅる……♡ じゅるる♡ じゅ♡ じゅ♡ はあっ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅるる……♡はあっ♡ ふふっ♡ じゅ♡ じゅるる♡ はあっ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅる♡ じゅるる……♡じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ じゅぶ♡ はあっ♡」
134. ルイズ「知ってるかしら？ サキュバスの女性器は、人間の雄を魅了するのに特化した構造になっているのよ。だから、ほら見て……？ 私のオマンコ、あなたの精気……いいえ、あなたの立派なオチンポ見てたら発情しちゃって……♡ 人間のオスを魅了するフェロモン、ムンムンに分泌しちゃってる……♡」
135. ルイズ「……………早く入れたいでしょう？ だってこんなにガチガチになったオチンポ、苦しいわよねえ……♡ 今、気持ちよくしてあげるわ♡……ふふっ♡ こんなトスケベなサキュバスオマンコ味わっちゃったら、人間のメスのオマンコなんか二度と戻れなくなっちゃうかもしれないわねえ……♡」
136. ルイズ正面「はーっ♡ はーっ♡ 入れるわよ……♡ あなたの立派なオチンポ

……私のところオマンコに……いれて……♡ おっ……♡ おおっ♡ おっ♡ はー♡ はー♡ くるっ♡ おっ♡ おおっ♡ すごいのっ……♡ おっほ♡ おほっ♡ おおっ……♡ 精気だけじゃなくて、オチンポもすごい♡ 私の気持ちいいところ当たってるっ……はあっ♡ はあっ♡ やっぱりあなたを連れてきて、本当に良かった……♡」

137. ルイーズ「さあ、動いてあげましょうね♡ いいのよ♡ 私があなをいっぱい気持ちよくしてあげるわ……だから、私に身をゆだねて？♡ ねえ？♡ いくわよう♡」

138. ルイーズ「……んっ♡ はっ♡ おおっ♡ あなたのオチンポ入ってぐっ…おっ♡ おっ♡ おっほ♡ ぎもぢいっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おっ♡ どうかしら？ サキュバスオマンコは……？♡ ふふっ♡ 気持ちよさそうね♡ おっ♡ おおっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おごっ……♡ おおっ♡ すごい♡ オチンポ、ぎもぢいっ♡ おっ♡ おおっ♡ もっと♡ オチンポ♡ おおんっ♡ おっ♡ おおっ♡ ほおっ♡ おっ♡ オマンコ止まんない♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ おおんっ♡ おほおっ♡ おっ♡ んぐっ……♡ はー♡ はー♡ ほうら、あなたのオチンポの上にしゃがみ込んで……これでもっとオマンコしてあげましょうね♡」

139. ルイーズ「……おっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡ これすごい♡ ぎもぢいっ♡ オチンポぎもぢいっ♡ おっ♡ おっ♡ おっほおっ♡ おごっ♡ おっ♡ 頭焼ききれそうっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おおっ♡ はっ♡ はあっ♡ んおおっ♡ おほっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ もっとおおっ♡ もっとオチンポ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ おんっ♡ はあっ♡ おおっ♡ おっ♡」

140. アリス3「はあっ……♡ はあっ……♡ ママ、すごい気持ちよさそう……♡ んっ……はあっ……♡ 君からすごい精気感じるの……私のオマンコも発情して……あつつい……。あたしも、オチンポ欲しいのにつ……。はあっ……♡ ねえ、君の手であたしのオマンコいじってよ……」

141. アリス3「……何も考えなくていいからっ……♡ あたしが、君の手で自分の気持ちいいところ触るだけ……ほらっ、手貸して……うっ♡」

142. アリス3「ねえ……ここがサキュバスオマンコだよ……♡ あつくて、ところどころなってるでしょ……♡ 指、入れて……んっ……♡ はあっ♡ あっ♡ んっ……♡ おっ♡ おおっ♡ ぎもぢい♡ 感じる……そこ♡ おっ♡ おおっ♡ んおおっ♡ おほっ♡ おっ♡ おおっ♡」

143. ルイーズ「おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ あっ♡ アリスも気持ちよくなってるのね♡ んおおっ♡ おほおおっ♡ おっ♡ おっ♡ サキュバスの喘ぎ声にも、オスを魅了する力があるのよっ……♡ 二人分の、声で……オチンポもつとガチガチにしてえ♡ ほら……」

「本、ルイズ右近い」「……こうすれば、声もいっぱい聞こえるかしら？♡
よさそう……♡ ふふっ♡ たっぷりオマンコしましゅうねえ♡」
アリスも気持ち

145. ルイズ「はあっ♡ んっ……♡ んおおっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おお♡ おっ♡ おう♡ んううっ♡ おおあっ♡ おほっ♡ おっ♡ 角度かわって……いっばい当たってるう♡ おっ♡ おっ♡ ぎもちいっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おんっ♡ おっほ♡ おおっ♡ 止まんないの♡ オチンポ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ んおっ♡ おおおっ♡ いいのよ、もっと私に甘えて？ ね？♡ いっぱい気持ちよく……してあげるわ♡ あっ♡ んっ♡ んおおっ♡ おおんっ♡ おっ♡ そこおおっ♡ おっ♡ おほおおっ♡ おあっ♡ ああっ♡ おっ♡ おごっ♡」

146. アリス3「(ルイズと同時に)はーっ♡ はーっ♡ オマンコ気持ちいい……♡ も
 っ……もっとううだいい……もっとお……♡ んおっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ
 ほっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ んああっ♡ オマンコびしょびしょになってる
 ♡ おっ♡ おっ♡ おおんっ♡ はあっ♡ おっ♡ おっ♡ 君の手で……オマン
 コ犯されてる♡ だめえっ♡ おっ♡ おおっ♡ おおんっ♡ もっ♡ おっ♡
 いっぱいぐちゃぐちゃにしてっ♡ えああっ♡ んっ♡ おおおっ♡ おほおっ♡
 おああっ♡ んっ♡ はあっ♡ ぎもぢっ……おおっ♡ おほっ♡ くるっ……♡
 ぎもぢいいのくるっ……♡ ううっ♡ おっ♡ おんっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ
 ♡ おおおっ♡ いぐうっ♡ いぐううううっ♡ うあああっ♡ ああっ……は
 ああっ……♡ はあっ……イツっちゃった……あっ……はあ……♡」

「47. ルイーズ「はーっ♡ はーっ♡ あらあ、アリスったらオナニーでアクメしちゃったのね♡ ふふっ……♡ でも、私も……ああっ……♡ このまま、イッちゃいそう……♡ おっ♡ おんっ♡ はあっ♡ あなたもイキそうなの？ ふふっ♡ はあっ……♡ いいわよ、一緒にイキましようねえ♡ おっ♡ おっ♡ ほら、いっぱいピストンしてあげるから……♡」一緒にびゅーびゅーしてね……♡」

「48. ルイズ」……おっ♡ おほっ♡ おんっ♡ おんっ♡ おっ♡ おおっ♡ おっ♡ はあっ♡ ぎもぢっ♡ あっ♡ オマンコぐちゃぐちゃ……♡ あっ♡ んっ……お
おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おおっ♡ おっ♡ ねえっ♡ ぎもぢいっ♡ いっ♡
んおおおっ♡ おっ♡ おおおっ♡ あなたのオチンポ♡ ぎもちいいのっ♡
おっ♡ おおんっ♡ おほおおっ♡ はあっ♡ はあっ♡ あっ♡ おおっ♡ お
っ♡ おっ♡ おんっ♡ んほおおおっ♡ おっ♡ おおっ……♡ くるっ……♡
おっ♡ おっ♡ おっ♡ おおおっ♡ くるう♡ ぎもちいいのくるっ♡ うっ♡
はああっ♡ オマンコのなか、ビュービューしてええっ♡ おっ♡ おっ♡ おお
っ♡ おおおっ♡ んほおおおっ♡ いぐっ♡ いぐううっ♡ 私のオマンコ孕ませて
え♡ んほおおおっ♡ いぐううううっ♡ うっ……♡ んっ……はあっ♡ あ
っ……♡ よしよし、びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡ ふふっ……♡ あなたのど

ろどろザーメン、オマンコの中に入って来るわ……♡ はぁっ……♡ ほら……♡
オマンコ締まっつの分かる？ あなたのザーメンを絞り取ろうとしているの……はぁっ
……♡ はぁっ……♡ ふふっ……♡ 最高のザーメン……いただいたわぁ♡」

149. ルイズ7「いっぱいびゅーびゅーしたわね……♡ サキュバスオマンコ、すごいでし
よう……♡ あなた、もう元には戻れないわよ♡ 人間のメスのオマンコなんかじゃ、
満足できない体になっちゃったんだからねえ……♡」

● 5 章 娘が嫉妬して、いちやらぶセックス 母は囁き乳首責め

○同

151. ルイズズ正面「はあっ……♡ はあっ……♡ ふふっ♡ サキュバスオマンコの生ハメはどうだった？ 気持ちよかったでしょう？♡ 言わなくてもわかるわよ♡ そのとろけた顔……♡ ふふっ、エッチねえ……♡」

152. アリス1「……ふんっ、鼻の下伸ばしちゃって。ママに一回中出ししただけで……」

153. ルイズズ「あらアリス、やいてるの？」

154. アリス1「ち、違うけど……」

155. ルイズズ「ごめんなさいねえ、アリス、意外とウブなのよ。あなたを町で見つけたときから気に入ってたみたいでね……私に嫉妬しちゃったみたい♡ ふふっ♡」

156. アリス1「……ねえ、次は私が君と種付け中だしエッチするんだから。ね？ ママの次はあたしでしょ？」

157. アリス1「……イッたばかりだから少しまって？……はあっ、馬鹿ね……最初になんていったか覚えてる？ 精の最後の一滴まで絞り取ってあげるって……サキュバスが待ってあげるわけないでしょ♡ ほらっ、いっぱいちゅーしてあげるから……」

158. アリス1「ふふっ……サキュバスのキスもね、人間のメスとはくらべものにならないくらい気持ちいいんだよ……♡ 私の媚薬入り唾液受け取って♡ んっ……ちゅ……♡ ちゅ♡ ちゅ……♡ はあっ♡ んっ♡ ちゅ♡ はむっ♡ じゅ♡ あむっ♡ じゅる♡ えあーん♡ じゅる♡ あむっ♡ んっ♡ じゅる……♡ あむっ♡ んっ♡ はあっ……♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ……♡ 好き……ちゅ♡ んっ……好き……♡ はむっ♡ じゅ♡ じゅる……♡ 君のこと……好き……ちゅ……♡ んっ……♡ はあっ……♡」

159. アリス1「……あっ。ふふっ……おちんちん、おっきくなってきた……♡ へへっ……♡ ちゅ♡ ちゅ……♡ はむっ♡ じゅる……♡ はあっ……♡ ねえ、いれていい？ あたしのオマンコなら、もう準備できてるよ？♡ だってさっき、君の手でいっぱい気持ちよくなったもん……♡」

160. アリス9「……うん、じゃあいれるね♡ はあっ……♡ おっきいおちんちん……オマンコに……んっ……♡ はあっ♡ ああっ♡ 奥……入って来るっ……♡ おっ♡ おおっ♡ おおんっ♡ おっ……♡ おほっ……♡ んっ……はああっ♡ はあっ♡ きた……♡ 奥まで入ったよ♡ はーっ♡ はーっ♡ ねえ、こっち起き上がって？ あたしのこと、ぎゅってしてよ……そう、対面座位……♡ うん……♡」

161. アリス1「ほら……こうすればいっぱいキスもできるよ……♡ んっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ はむっ♡ んっ♡ はあっ♡ ふふっ……♡ おちんちん、あたしのオマンコの中でおっきくなったの分かる……♡ ちゅ♡ ちゅ♡ はむっ♡ じゅる……♡ んっ♡ はあっ♡……あっ、ママ？」

あっ♡ おおおっ♡ おほおっ♡ おほおおっ♡ いぐううううっ♡♡んお
おおっ♡ おっ……はあっ……♡ あっ……はあ……はっ……♡ また、イツちゃっ
た……♡ 君のおちんちん……すっごい気持ちよかった……ふふっ……ちゅ♡んっ
……♡ ちゅ♡ はむっ♡ ちゅ♡ じゅ……じゅぷ♡ じゅるる♡ はあっ……♡
好き……♡」

● 6章 母娘サキュバス井 母に先にアナル種付け その後娘と孕ませエッチ

○同

169. ルイズ後ろ「ふふっ……アリスったら、こんなに感じちゃって……♡オマンコからザーメン溢れ出てるじゃない ああ、娘の本気エッチ見てたら私もまたしたくなっちゃった♡ ほら、次は私のオマンコにいれてちょうだい？」

170. アリス9「だ、だめ！ もう一回私とするの！……ね？ 君だって、ママとするより私のほうがいいでしょ……？♡」

171. ルイズ正面「ふふっ♡ アリスったらあなたに夢中になっちゃって……♡ 無理もないわね、こんなに精気をムンムンさせられたらたまらないもの♡ だったらあなたに選んでもらいましょ……どっちとエッチするかをね♡ ほら、見て？ 私たちの求愛尻ふりダンス♡ふりふり♡」

172. アリス9「んっ……ママになんか負けないから……！ ほら、見て？ 私のおっきなお尻……♡ ママより、魅力的でしょ……？ ふり……♡ ふり……♡」

173. ルイズ「ふふっ♡ 私たちのデカ尻、とってもエッチでしょう？ オスを惑わす、特別に淫らなフェロモン……サキュバスの体のなかでも、一番濃いのが肛門なのよ……♡ふりふり♡」

174. アリス9「はぁっ♡ はぁっ……♡ ほらほら♡ 遠慮しないで、もっと近くで見て……♡ んっ……♡ アナルのしわが、くつきり見えるくらい……♡ふり♡ ふり♡」

175. ルイズ「ふふっ、私と娘の肛門の匂いが混じりあって、匂いを嗅ぐだけでクラクラ興奮してきちゃうでしょう？♡」

176. アリス9「はぁっ♡ はぁっ♡ あっ♡ ふふっ……鼻の息が当たってくすぐったい……♡」

177. ルイズ「すごい匂いでしょう？ サキュバスアナル……♡ さあ、私と娘……どっちから犯したい？♡」

178. ルイズ「あら……私でいいの？ ふふっ、いいわよ。相手してあげる♡ おいでっ♡」

179. アリス9「あっ……ママばかりずるい……」

180. ルイズ「残念ね、やっぱり私の求愛ダンスにはまだまだ敵わないのよ♡ さあ、あなたのオチンポ……私の淫らなオマンコに……」

181. ルイズ「……えっ？ おっ♡ おおっ♡ そっちに……おっ♡ アナルきつつい……♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっほっ♡ はーっ♡ はーっ♡ いきなりアナルにぶち込むなんて……♡ えっ♡ んっ♡ んおっ♡ おほおっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ アナル、ガチガチオチンポで広がっちゃう♡ おっ♡ おっ♡ おんっ♡ おっ♡ おっほ♡ んっ♡ ふうっ♡ はーっ♡ はーっ♡ ふふっ……ドスケベアナルの匂いかいでたら、こっちにいたくなっちゃったのね？♡ ううん、いいわよ……♡ 思う存分、気持ちよくなっていっ♡ ほら、腰振って

……♡」

182. ルイズ

183. 「おっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ はっ♡ はっ♡ アナルじゅぶじゅぶされてる♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おおっ♡ オチンポおっきい……♡ んおおっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ すごい♡ アナル壊れちゃう♡ おっほ♡ おほっ♡ おおんっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おおおっ♡ はあっ♡ はあっ♡ あっ♡ あっ♡ んおおっ♡ ぎもぢいっ♡ いいっ♡ ほら♡ いいのよ♡ もっといっぱい気持ちよくなって……♡ んおおっ♡ おっ♡ おっ♡ はげしっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ 立派なおチンポもっ♡ もっとちょうだい♡ おっ♡ おっ♡ おほっ♡ おほおっ♡ んおう♡ んっ♡ はあっ♡ はあっ♡ あっ♡ んっ♡ ふふっ♡ サキユバスアナル、気持ちいいでしょう？ おっ♡ おっ♡ んっ♡ ふっ……♡ さっきよりも興奮してるみたい♡ 可愛いわねえ♡ おほっ♡ おほおっ♡ ぎもぢっ……♡ いっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡ んああっ♡ はあっ♡ アナルのなか、ザーメン出して♡ たっぷり注いでちょうだい♡ おっ♡ おっ♡ おおおっ♡ すごい♡ おっ♡ おう♡ すごい♡ のくるっ……♡ おっ♡ おっ♡ おほっ♡ おほおっ♡ おおおっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ んっ……ふうっ♡ んおおっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ なかつ……出して……♡ ザーメン、びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡ おおんっ……♡ アナルのなか、いっぱいザーメンくる……♡ 熱いの、注がれてる……♡ はあっ♡ はあっ♡ ふふっ……♡ アナルでいっちゃったわねえ♡ 気持ちよかったです♡ 私のアナルから君の精子がぶりぶり溢れてる♡ えっろお・♡」

184. アリス9 「ど、どいてママ……私と代わって？」

185. ルイズ 「はいは♡」

186. アリス9 「はあっ……♡ はあっ……♡ もうだめ……あたし、ママと君のアナルセックス見てたら、もう……オマンコ我慢できないよ……♡ ねえっ……ほら、フェラしてあげるから……あたしの中にもザーメンほしいのっ……♡ 横になって……ほらっ」

187. アリス1 「はむっ……んっ……じゅるぐぼっ♡ じゅぶぶ♡ んう♡ じゅぶじゅぶ♡ じゅるる♡ えあーん……あむっ♡ じゅぐるる♡ じゅる♡ んっ♡ じゅぶぶ♡ んぐぼっ♡ じゅぼじゅぼ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅぼっ♡ じゅぼっ♡ じゅぶ♡ んぶっ♡ じゅるるじゅぼ♡ じゅぶ♡ んぶっ♡ ぐぼっじゅぶじゅぶ♡ はあっ……♡ ふふ……♡ サキユバスのフェロモンのおかげかな？ おちんちん、おっきくなったね……♡ はあっ♡ はあっ♡ あたしのオマンコで……いっぱい気持ちよくなってね……♡ いれていい？」

188. アリス9 「んっ……♡ おおっ♡ 君のおちんちん……あっつい……♡ 奥まで入ってくよ……♡ いっぱいオマンコしてあげるね♡」

189. アリス9 「んっ♡ ふっ♡ あっ♡ はっ♡ はっ♡ おっ♡ おっ♡ おほっ♡

おほおっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡ はっ♡ んっ♡ んんっ♡ ふっ♡ んっ♡ 私のおマンコと……ママのアナルどっちが気持ちいい♡ おおっ♡ おっ♡ おほっ♡ はあっ♡ マ、ママのアナルよりも……♡ あたしのおマンコのほうが気持ちいいよねっ……？ おっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおおっ♡ んおおっ♡ すごいっ♡ 全然精気がおさまらないの……♡ どんどん気持ちよくなる……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ んおおおっ♡ もっとちょうだいっ♡ もっと……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおお♡ おっ♡ はあっ♡ はあっ♡ んおおおっ♡ おっ♡ んおっ♡ ほっ♡ さっきまでママのアナルにいれてたおちんちん……今はあたしのおマンコで気持ちよくなってるの……♡ はあっ♡ はあっ♡ ドスケベだね……♡ ほんとっ……おおおっ♡ おおおおっ♡ ぎもちいっ♡ んぎっ♡ ぎっ♡ おっ♡ おおおんっ♡ ほっ♡ ほお♡ おっ♡ おっ♡ ねえっ♡ あたしの手……ぎゅって握って……♡ はあっ♡ あっ♡ おごっ♡ ぎゅって……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ 好きいっ♡ うほ♡ ほおっ♡ おほおおっ♡ おっ♡ ごっ♡ オマンコぎもちくなっちゃ♡ うっ♡ うううっ♡ おほおおっ♡ おっ♡ ほっ♡ ほーー♡ ほーー♡ なかつ……なかに出して……♡ あたしの子宮にぎみのザーメンいっぱい注いでっ♡ おっ♡ おっ♡ ぜったい孕ませて♡ ザーメンくださ……♡ おんっ♡ おんっ♡ ほっ♡ おごお♡ おおおっ♡ ほっ♡ はっ♡ ぎもちっ♡ いっ♡ おっ♡ おっ♡ おほっ♡ ほおっ♡ ごっ♡ ぐるっ……♡ おちんちんもつと……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おほっ♡ おおおおっ♡ だして♡ ながっ、いっぱい出して♡ びゅーびゅーびゅー♡ びゅーびゅーびゅー♡ はあっ……♡ はあっ……♡ やつとあたしの子宮に種付けしてくれた……♡ ドロドロのザーメン、子宮の中にはいつてくる……♡ ふふっ♡ 赤ちゃんできちゃうなあ……♡ うれしいっ……♡」

190. ルイーズ「うふふ……サキユバス親子、二人に種付けしちゃうなんてねえ♡ あなたの素晴らしい精子ならきつと元気な赤ちゃんを授かるわ♡」

191. ルイーズ「……ん？ ふふっ、そうよ♡ 妊娠したって、あなたから精を絞り取るのにお休みなんてないの♡ 一生、私たちに精を捧げ続けるのよ……♡」

192. アリス1「どうせもう人間のメスじゃ満足できないんだから、ちようどいいでしょ？ あたしたちとずーっと一緒だよ♡ 楽しみだね？♡」

● 7章 ≪腹ボテ母乳中出しセックス三昧

○同(時は流れて……)

194.(ガチャ、と入ってくるあなた)

195.ルイズ右斜め前「ふふっ……♡ さあ、こっちにおいで♡ おっきな赤ちゃん……♡ 裸でハイハイしてるのに、オチンポだけはガチガチに勃起してるのねえ♡ ドスケベな赤ちゃんだわ♡ さあ、隣に座って？」

196.ルイズ「ほら……私のお腹ももうこんなに大きくなったの♡ あなたとの大切な赤ちゃん♡ まさか本当に娘と同じタイミシングで孕んじやうとはね……♡ あなたの精気の強さは本当に素晴らしいわ……♡」

197.ルイズ「ん？ どうしたの？ ああ……おっぱいが欲しいのねえ♡」

198.アリス16「ただいま」

199.ルイズ「あら♡ いいところに帰って来た。アリス、一緒にこのおっきな赤ちゃんにおっぱいあげましょう♡」

200.アリス9「ふふっ♡ しょうがないなあ……♡ 赤ちゃん授かってからさらにおっぱい大きくなってさ、母乳もどんどん出るし……サキュバスは人間よりも体の変化が大きいんだよ♡ だからあ、いっぱい母乳飲んでもらわないとね♡」

201.ルイズ左近い「ほら……おいで♡ 私の母乳、どうぞ♡ あーんってして？ そう……ちゃんと吸ってね♡ ふふっ……♡ よしよし♡ 『可愛い赤ちゃんねえ♡』

202.アリス7「赤ちゃんのくせに、立派なおちんちんから我慢汁だらだら出てるよ……♡ こっちもお世話してあげなきゃだめ？♡」

203.ルイズ「ふふっ……♡ ほら、母乳おいしい？ うんうん♡ よしよし♡ オチンポもシコシコしてあげましょうね♡ アリスの手と一緒に絡めて……しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡ こら、ちゃんとおっぱい吸ってちょうだい♡ 口を離しちゃダメ♡」

204.アリス7「しこしこ♡ しこしこ♡ あたしのおっぱいもいっぱい母乳出るよ？ ほら……こっち……♡ たっぷり吸っていいからさ♡ んっ……♡ ふふっ♡ ほら、頑張って♡ おちんちんもシコシコ止めないからね♡ しこしこ♡ しこしこ♡ しこしこ♡」

205.ルイズ「あらあら……♡ どんどん我慢汁あふれてきて私たちの母乳飲んで興奮してるの？……ぬるぬるになってる♡ しこしこ♡ しこしこ♡ ふふっ♡ おっぱい吸いながら、オチンポしごかれて……ドスケベ赤ちゃん……♡ よしよし♡ ふうっ……♡ はあっ……♡ んっ……♡ ふーっ♡ ふーっ♡ ああっ……♡ もうだめっ♡ やっぱり我慢できないわっ……♡ はあっ♡ はあっ♡ ねえ♡ うしろから、そのガチガチに勃起したオチンポ……ぶちこんでちょうだい♡」

206.アリス7「ママったら……ほんとドスケベなんだから……♡」

207. ルイズ正面「ほらっ……私のアナル、あなたのオチンポが欲しくてひくひくしてるの……♡ きて……♡」

208. ルイズ「おっ……♡ くるっ……♡ おっきいオチンポ、入って来る……♡ アナル、犯されてる♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おおっ♡ あなたのオチンポ♡ ぎもぢいっ♡ いっ♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おおっ♡ おっ♡ おっ♡ 妊娠してるせいであっ♡ すごい感じちゃう♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ アナルずぼずぼしてっ♡ もっとお♡ おっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおおっ♡ おおっ♡ アナルぎもぢいっ♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おおっ♡ くるうっ♡ きちゃう♡ おっ♡ おっ♡ アナルからドスケベフェロモンいっぱい出ちゃう♡ おほっ♡ おほおっ♡ おっ♡ んおっ♡ いぐっ♡ いぐいぐいぐっ♡ んほおっ♡ いぐうううっ♡ いっ♡ おおっ♡ おおっ♡ いぐううううっ♡ ーっ♡♡ おおっ♡ おっ♡ おほっ……おっ……はあっ♡ はあっ……♡ はっ……♡ すごい精気……ぎもぢいっ……はあっ……♡ はあっ……♡」

209. アリス9「ねえ、次はあたしね？」

210. アリス1「ほらっ……ちゅーして……♡ はむっ♡ ちゅ♡ んっ……ちゅ♡ ちゅ♡ あむっ♡ ちゅ、じゅるる♡ じゅ♡ じゅぐぼ♡ じゅ♡ はあっ♡ こっち来て……うんっ……あたし、正常位でいたい♡ 君の顔いっぱい見たいから……♡」

211. アリス1「すぐいれていいよ……♡ 君におっぱいあげるときから、もうオマンコびしょびしょだからさ……♡ おちんちん、いれて……はっ……♡ あっ……♡ きたあ……♡ 君のおちんちん、奥まで入った……♡ いっぱい突いて……♡ 奥まで、お願いっ……♡」

212. アリス1「んっ……ふっ♡ あっ♡ はっ♡ おっ……♡ おっ♡ おおっ♡ ぎもぢっ♡ おんっ♡ おんっ♡ おほおっ♡ おっほ♡ おっ♡ おぐっ♡ ほっ♡ あっ♡ き、キスして……♡ はむっ♡ んっ……ちゅ♡ ちゅ♡ じゅるる♡ はあっ♡ じゅるるぐぷっ♡ んっ♡ じゅるる♡ はっ♡ んおっ♡ おっ♡ んっ♡ はむっ♡ んっ♡ ちゅ♡ んっ♡ んおっ♡ はあっ♡ あっ♡ おっ♡ おっ♡ 好き……♡ おおっ♡ おっ♡ ちゅ♡ じゅるる♡ はむっ♡ んおっ♡ おっ♡ ちゅ♡ んっ♡ じゅぐぼ♡ じゅ♡ はあっ♡ あたしの媚薬唾液……いっぱい飲み込んで♡ 気持ちよくなって……♡ えあーん♡ はむっ♡ じゅぷぷ♡ じゅるるぐぼ♡ じゅ♡ はあっ♡ じゅ♡ んおっ♡ おほっ♡ はむっ♡ んっ♡ じゅるる♡ じゅ♡ はあっ♡ おう♡ おっ♡ はあっ♡ いっ♡ いぐっ♡ んうっ♡ おっ♡ おっ♡ 一緒に……いこ……っ♡ 今日は、ママじゃなくてあたしの中にザーメンちょうだい……ね？♡ あっ♡ おおっ♡ おほっ♡ おっほ♡ くるっ♡ うっ♡ おおっ♡ もっと♡ おっ♡ おっ♡ おほおおっ♡ ぎもぢいっ♡ おおっ♡ おっ♡ おおおんっ♡ いぐっ♡ いっちゃう♡ いぎっ♡ おっ♡ いぐっ……うっ……いっ、いぐうううう♡ おほおおおっ♡ おお

おっ♡ おっ♡ おおおっ♡ おっほっ♡ おっ……♡ はっ……はっ……♡ はあっ……♡ おちんちん、びゅーびゅー♡ びゅーびゅー♡ はあっ……はあっ……♡ ふふっ♡ すごいザーメン……おなかパンパンになっちゃうよ……♡ すごい、オマシコから精子あふれ出てる……♡」

213. ルイーズ正面「はあっ……♡ はあっ……♡ 私たちの母乳と混じりあってすごいエッチな匂い……♡ こんなに射精したのに、すごいわねえ。まだまだ精気で満ち溢れてる……♡」

214. アリス9「さすが、あたしたちの旦那さんだね♡」

215. ルイーズ右近い 「これから永遠にあなたの精子を絞り取ってあげますからね♡」

216. アリス3「(ルイーズと同時に) これからも永遠に君の精子を絞り取ってあげるからね♡」

(おわり)